

府中市 自然環境調査報告

昆虫類報告⑨

20150216 小泉作成

- 実施年月日 2015年2月10日(火) 晴 気温:9°C(11時) 9時30分~11時45分
- 調査場所 武蔵台公園周辺
- 参加者 市担当部署:5名(他の部署より2名) / 自然環境調査委員:13名(昆虫担当委員:3名)
- 報告者 小泉 共司
- 確認科・種 昆虫=15科・20種 ※=新しく確認されたもの・4種

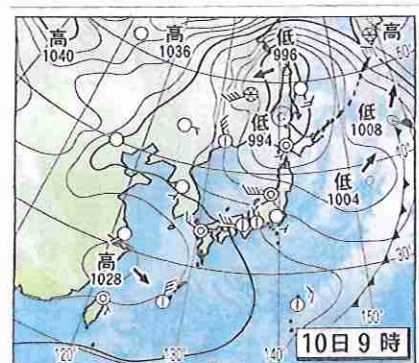
科	種名・形態	確認場所	確認時条件
●ハサミムシ科	ハサミムシ	武蔵台・D	目撃
●カマキリ科	オオカマキリ・卵囊	武蔵台・D	目撃
●クヌギカメムシ科	クヌギカメムシ・卵塊	武蔵台・B	目撃
●ヒラタカメムシ科	ノコギリヒラタカメムシ	武蔵台・D	目撃
●サシガメ科	アカシマサシガメ・幼態 ヤニサシガメ・幼態	武蔵台・D 武蔵台・A・D	採集 撮影 台紙 目撃
●シジミチョウ科	ムラサキシジミ	武蔵台・A	目撃
●タテハチョウ科	ゴマダラチョウ・幼態 ルリタテハ	武蔵台・A 武蔵台・A	採集 撮影 目撃
●ミノガ科	オオミノガ・蓑	武蔵台・周辺	目撃
●シャクガ科	クロオビナミシャク・メス ※クロバネフユシャク・メス ※ナミスジフユシユク・メス	武蔵台・A 武蔵台・A 武蔵台・A	採集 撮影 採集 撮影 採集 撮影
●ハナアブ科	ヒメヒラタアブ	武蔵台・A・周辺	目撃
●テントウムシ科	ヒメカメノコテントウ ※ムーアシシロホシテントウムシ	武蔵台・C 武蔵台・A	目撃 目撃 撮影
●オサムシ科	※ハラアカモリヒラタゴミムシ	武蔵台・D	目撃
●ゴミムシダマシ科	キマワリ・幼態	武蔵台・D	目撃 撮影
●タマムシ科	ウメチビタマムシ	武蔵台・A	目撃 撮影
●ゾウムシ科	カシワクチブトゾウムシ	武蔵台・A	目撃

《省みて》 今冬に入り、最強の(寒気団)の南下に伴い、寒い日々の中の調査が予想されたが、風も弱い関係より、さほどの寒さを感じ獲れないほどであったのは幸いした。11時現在の気温も例年並みに留まる。

今回の調査で、3種の(フユシャクガ類・メス)の確認は、ひとつの成果であろう。調査委員の眼力・観察力が向上したことによるものと理解したい。私個人としては、フユシャクガ・メスの確認は難しいものと判断していたが、重点的な観察継続したことが、成果として現れた。

2月に入ると、冬越しのタテシチョウ科・2種の確認は、風が弱く・気温の上昇に伴い、特定場所周辺で確認されることに注目して、観察を続ける必要性を改めて痛感した。園内では、コナラ・クヌギ類の湿った(朽木)が少ないので(冬越し虫たち)が観察出来にくいことは残念である。園内に最低でも2ヶ所に(朽木類)を集積した場所が欲しい。

(当日の天気図)



《 武蔵台公園・(フユシャクガ類・メス)の動静にふれて 》

現在迄に確認されたものは、全てA地区内である。①イチモンジフユシャク(20150115) / ②ウスバフユシユク(20141210) / ③チャバネフユシャク(20151015) / ④ナミスジフユシャク(20150210)の4種。

12月中旬に最初に確認されるはずの「クロオビフユナミシャク」 / 「クロテンフユシャク」が確認されないのは、調査時期と合致しないものと推定する。これらのオス・存在が確認されているので、確認される可能性は高いはず。いずれも、確認される個体数は少ないのは残念である。

❖ 2月の武蔵台公園・昆虫写真 ❖

●実施調査日 2015年2月10日(火) 晴 9時30分～11時50分
 ●参加者 市担当部署:2名/調査委員:13名(昆虫担当委員:3名)

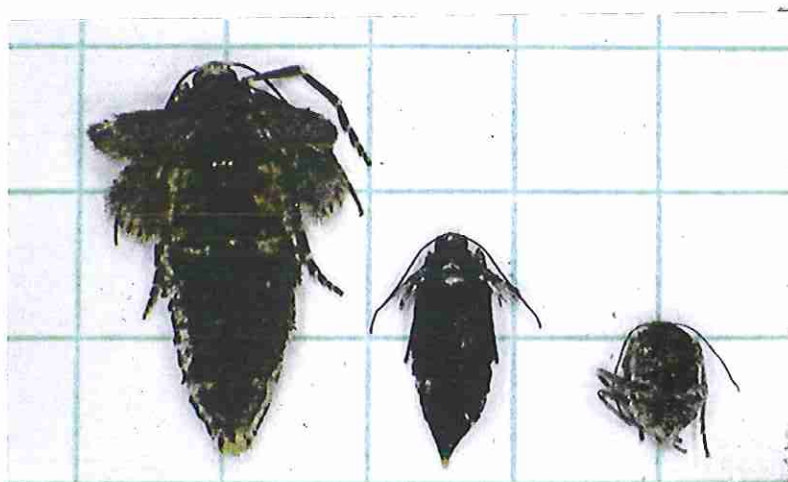
【写真説明】

上 段:『フユシャクガ類』メス (シャクガ科)・3種……………5mm 方眼紙上で撮影
 中段左:『アカシマサシガメ』幼態 (サシガメ科) …………… 樹皮・裏側で越冬
 中段右:『ムーアシシロホシテントウ』 (テントウムシ科) ……樹皮・裏側で越冬
 下段左:『キマワリ』幼態 (ゴミムシダマシ科) …………… 朽木類の中で越冬
 下段右:『ゴマダラチュウ』幼虫 (タテハチョウ科) ……………ケヤキ樹元の落ち葉裏で越冬

◆上段写真・3種類の『フユシャクガ』メス・3種の大きさを比較するために、5mm 方眼紙に並べて撮影した。

- ①左側:『ナミスジフユナミシャク』
- ②中央:『クロオビナミシャク』
- ③右側:『クロバネフユシャク』

…産卵後には胴長が縮まりやや丸型に移行する傾向あり



(20150218 小泉作成)

